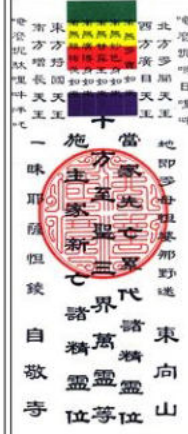


暁雲

No.90

発行所 自敬寺
発行人 服部隆志
〒532-0006
大阪市淀川区
西三国2-12-43
TEL06-6391-5348
FAX06-6391-4567
jikeiji@gol.com
http://
www.jikeiji.com



お施餓鬼のお告知りせ

七月十五日(土) 午後二時～四時

- ① 一時 新本堂お披露目(自由散策)
 - ② 二時 《お施餓鬼法要》
 - ③ 三時 本尊「十一面観世音菩薩」除幕式
ご先祖供養(戒名奉読)
 - ④ 三時半 《お話し》皆様に感謝して
…お寺の使命 共に創るお寺を目指して…
「本堂が出来るまで
設計者、現場監督に聞く」
 - ⑤ ⑥ご自由に散策
- 別紙同封の戒名はお寺で整理したものです。訂正加筆して受付へお申し出下さい。

☆バザーコーナーでは、東北・熊本被災地生活応援商品・国際協力フェアートレード商品を用意してます。



おせがきの由来

○餓鬼に施すと書いて施餓鬼。

主人公は阿難尊者(アーナンダ)釈迦二大弟子の一人。お釈迦さまに生涯付き従い多聞第一と言われ経典編纂の中心人物となった。

○仏教初代はブツダ(お釈迦さま)二代目は摩訶迦葉尊者(マハカッサパ)三代目がイケメンの阿難尊者。

○ある日、阿難は夜中に坐禅をしていた。そこに「餓鬼」が現れ飲食の施こしを乞うた。聞き入れなければ我らの仲間にする！と脅したのだ。

○因みに餓鬼とは強欲で嫉妬深くすぐ怒る人が行き着く所、今もそのような生き方をしている人の事を言う。その餓鬼は私たちの心が貪(むさぼり)瞋(いかり)痴(おろかさ)の三毒に征服された時、行動として現れ悪態をつく。

○驚いた阿難は餓鬼を救おうとお釈迦様に教えを乞うた。

釈迦は「一椀の食べ物の供養でもその布施の心は無量の食べ物となり、餓鬼はもとより供養もされない生きとし生けるものさえ救うことが出来る」と説かれた。

○そこで阿難は餓鬼を供養した。おかげで餓鬼は救われた。施餓鬼法要の始まった由縁だ。

○古来インドでは布施する人をダーナと言い、日本では旦那(檀那)、布施をしてくださるお宅を檀家さんと呼ぶ。西洋ではドナー(提供者)の語源となった。

○その「施餓鬼」の功德が私達のご先祖にまで行き渡り、更に三界萬霊の諸霊までも救われますように！

と施餓鬼法要では塔婆回向(とうばえこう)を行

い祈願文を唱えている。



泥の中に咲く蓮



山門(甘露の門を開く)

住職記

開創当時の本堂は落雷により焼失、隣家[渡邊邸]の書院の寄贈を受け再建。300年の風雪に耐え今日に至るも梁の劣化・耐震強度不足・トタン屋根の腐食により安全を考え新築するに至る。



旧本堂



起工式(地鎮祭)



基礎工事17メートルの杭34本



コンクリート基礎



鉄骨組み立て



本堂西側 駐輪場も



南東からの本堂



2階本堂 本尊は正面に



1階玄関・会館・本棚



南側から



ソーラーパネル



本尊裏の位牌棚

本堂の特徴

- 鉄骨2階建、カフェスペース・図書コーナー・簡易キッチン・寺務室・22畳の会館・男女別トイレ・多目的トイレ・シャワー室があります。吹き抜けのらせん階段で2階へ
- 本堂は2階です。9人乗りのエレベーターも設置、車いすの方も安心です。本堂の天井は5メートルの高さ、78畳150人のいす席を確保。暖房は床暖房です。
- 修復中の本尊十一面観世音菩薩は施餓鬼には戻ってきます。天井・窓からの自然光で時間によって趣が変わります。木彫の須弥壇もそのまま前机になります。
- 外部階段には龍・マカラ・鳳凰・卍くずしがガラスエッチングで表現され、テラスには吊り灯籠が灯ります。駐車場(数台)、屋根付きの駐輪場もできます。

自敬寺開創300年記念「本堂新築」事業

・・・集い、やすらぎ、学び、修め、自覚する本堂・・・

本堂は皆さまの家の仏間です。ご本尊は皆さまの家のお仏壇です。

訪れればいつでも安らげる、そんなお寺にしてゆきましょう。

おかげさまで自敬寺は厳しい時代を乗り越え今日まで存続する事が出来ました。

開創300年を記念して本堂を新築できることを感謝しています。

落慶法要は来年の5月頃に予定しております。

○本堂新築へのご寄進をお願いいたします(5年計画)

ご寄付の額に決まりはありません。皆様それぞれに可能なご厚志を賜われれば有難いです。

(例:毎月少しずつ振込む、写経目標〇〇枚、1日1円・10円・100円・500円・1000円貯金など)

ご志納・写経下さいました方のご芳名を本堂内に掲載しています。(目標1000名、現在507名)

現在の財務状況 (6月15日現在)

(ご寄進者の皆様には受領書を同封していますのでご確認ください)

○志納金 現在 298名様から4817万円をいただいております。

○写経 現在 1290名様納経し135万円をいただいております。

○喜捨箱(貯金箱) 137名様から82万円をいただいております。

※総合計5035万円、**目標達成率50%**になりました。**勸募額は10,000万円**

総工費(設計費・建築費・本堂建築用地不足分購入費・諸費等)の内、
自敬寺積立金約12,000万円(布施・葬儀・賽銭などの積立金・保険解約等)、護持会積立金600万円です。

不足分約9,000万円は銀行より借入れます。

☆ご寄進の方法 ①口座振込 ②現金書留 ③直接お寺に ④写経奉納 ⑤喜捨箱(貯金箱)

募集中 5年後の目標でも構いません。

ご兄弟・ご家族のご寄進合計(志納金・写経・喜捨箱(貯金箱))

分割・予約可 先着順 詳しくはお尋ねください。

☆(過去帳位牌(限定百基)
ご寄進合計二〇万円



☆(過去帳位牌付)
ご寄進合計五〇万円
(過去帳位牌付)



☆階段回廊のガラス彫刻
ご寄進合計百万円
(位牌と灯籠付)

☆りそな銀行

三国支店 普通

0159384

口座名(宗) 自敬寺

☆ゆうちょ銀行

記号14000

番号49640451

口座名 自敬寺

☆夜半の豪雨での梅雨入り、その後は空梅雨。最近ようやく梅雨らしくなってきた。田畑への水は大丈夫だろう。
人間は水田に足を浸して太陽に顔を向けても育ちはしない。農作物はえらい。水と太陽と土と肥料と農家の努力で育ってくださる。そんな作物の命をいただいている私は生きています。
☆旧本堂さま、よくぞ三百年間、皆を守ってくださった。そのおかげで今がある。正直怖かった。皆が集まっている時に倒壊しないかと。そんな本堂が新しくなった。荘厳でスカッとして、堅牢で使い勝手がよく、人にやさしい本堂が出来た。数千人の専門職の方々の働きと、檀信徒・縁ある皆さんの浄財が本堂を作ってくれました。借金はあっても、何とかなる、と思っている。皆さんどうぞお越してください。
住職 九拜

編集後記

お盆の法要の予定です。申込不要です。ご希望の時間にお越しください。


日	8月13日(日)	8月14日(月)	8月15日(火)
時間	朝9時～10時	朝9時～10時	
時間	朝11時～12時	朝11時～12時	朝11時～12時
時間	夕方5時～6時	夕方5時～6時	



お寺に駐車場(4台)ができました。
近くに「コイン◎」もあります。
市バスが阪急三国駅前から1時間に1~2本程度運行されています。「榎木橋行き」で「西三国2」で下車


8月から新本堂にて開催
「坐禅の会」・7月2日(日)8月6日(日)
午後4時～5時半
「写経の会」・7月8日(土)午後1時～4時
・8月8日(火)午後2時～3時


歩こう会 行先：神戸 布引の滝
 日時：7月4日(火)9時20分集合
 集合：阪急三国駅 ホーム内 梅田側
 持物：交通費・お弁当

 **AED**
本堂にAEDを設置しています
 AEDは電気ショックによる除細動を指示する簡単で確実に操作できる機器です。
 護持会が設置しています

永代供養 合祀仏塔
 (お釈迦さまに抱かれて)

- 永代位牌が位牌堂に祀られます
- 毎日、早朝に読経しています
- 縁者がなくても供養されます。
- お盆・彼岸・施餓鬼には塔婆供養しています
- ご遺骨はお釈迦様の蓮台の下に土に帰るよう埋葬されます。
- 墓を整理して永代供養として希望される方もあります。
- 生前依頼は現在三名です
- 維持費・管理料はいりません
- 永代志納金のみ必要です。

 「すず虫」が羽化しました。飼ってみたい方は大き目のケースをもって来てください。

集めてます。
 ベルマーク・使用済み切手・未使用切手、
 書損じハガキ・文房具 着物(正絹・帯)
 ☆新本堂用 **IH器具**(フライパン・鍋等)


「自敬寺ホームページ」は、<http://www.jikeiji.com/>「自敬寺」で検索